

氏名	高村夏輝	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	哲学・倫理学				
学位	博士（学術）				
学歴	2010年、東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了				
経歴	松蔭大学経営文化学部講師を経て現職				
所属学会（役職）	日本科学哲学会、科学基礎論学会、応用哲学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	『野矢哲学に挑む』一批判と応答	共著	あり	岩波書店、318頁	金杉武司、塩野直之、高村夏輝編	2024.5
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	意識にクオリアはいらないーラッセルの一元論がデネットから学ぶべきこと	単著	なし		『現代思想』2024年10月臨時増刊号	高村夏輝
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			ラッセルの一元論による現象的意識の解明	研究代表者	2021～2025年度
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	倫理学	○	30	道徳についての哲学的考察をするメタ倫理学と、規範倫理学の主要な立場（功利主義・義務論・徳倫理学）について紹介し、批判的検討を行った。2年次以降向けに開講されている「生命倫理の諸問題」との接続を意識して内容を設定している。		
2	生命倫理の諸問題	○	32	生命倫理・医療倫理の基本的話題である、インフォームド・コンセント、出生前診断、脳死・臓器移植、安楽死といった話題について、哲学的議論だけでなく、歴史的・社会的文脈の中でその問題性を解説した。		
3	哲学	○	15	心身問題をテーマとして、心身二元論、行動主義、心脳同一説、機能主義などの主要な立場を紹介し、批判的に検討した。また人工知能についての議論や、意識をめぐる難問についても紹介した。北海道大学の染谷昌義氏に、生態学的立場から議論をしていただいた。		
4	ヒューマンケア論		2	「ケア」の倫理的な重要性を、功利主義と義務論が大きな力を持つ規範倫理学の議論の中にその概念を位置づけることで説明した。また法哲学や政治哲学の基本的な話題を援用して、ケアする者に求められる基本的知識がどのようなものかを解説した。		
5	人間の探求		8	全8回の講義のうち、1回では授業テーマの提題者として「死」を取り上げ、学生間で議論をしてもらえよう問題を提起した。残りの回に関しては、提題者となる他の教員（非常勤を含む）の提起した話題について議論し、また学生グループでの議論を補助した。		

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	教養ゼミナール	○	15	トマス・ネーゲルの論文「死」と「人生の無意味さ」を題材として、学生と議論をした。議論の進み方を解説する資料をあらかじめ配布することで、学生が問題に取り組みやすくなるよう配慮した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		8	2チームを担当した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	和光大学非常勤講師	2024.04～2025.03	前期に哲学史A、後期に哲学史Bを担当した。	
2	明治大学非常勤講師	2024.04～2025.03	前期に科学哲学A、後期に科学哲学Bを担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	令和7年度司法試験予備試験審査委員	委員	2024.11～2025.10	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	博論会社	博士論文の出版事業に関してアドバイスをを行った。	2024.4～2025.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会		2024.4～2025.3
2	学科等における委員会等	教養科目担当者会会長		2024.4～2025.3
3	大学広報活動	オープンキャンパスへの参加		2024.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			